
N8190-165/166/173/174 Fibre Channel コントローラ ファームウェア適用手順(RHEL)

Starter Pack Version S8.10-013.04 では「Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順」で N8190-165/166/173/174 Fibre Channel コントローラのファームウェア適用することができません。

RHEL OS セットアップ完了後に本書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、ファームウェアのバージョンを確認してください。

N8190-165/166 のファームウェアバージョンが「02.04.09」、N8190-173/174 のファームウェアバージョンが「02.10.08」でなかった場合は、本書の【適用手順】を参照してファームウェアを適用してください。

ファームウェアの適用が完了したら再度本書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、N8190-165/166 のファームウェアバージョンが全て「02.04.09」、N8190-173/174 のファームウェアバージョンが「02.10.08」となっていることを確認してください。

【ファームウェアバージョン確認方法】

下記のいずれかの方法でファームウェアバージョンを確認することができます。

<システムユーティリティ(System Utilities)での確認方法>

- 1) POST で F9 を押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- 2) システム構成(System Configuration)を選択します。
- 3) 対象の Fibre Channel コントローラを選択します。
N 型番と「製品名」の対応は以下の通りです。
N8190-165/166: SN1100Q
N8190-173/174: SN1610Q
- 4) アダプター情報を表示する(Display Adapter Info)を選択します。
- 5) ファームウェアバージョン(Firmware version)を確認します。

< iLO Web インターフェイスからの確認方法 >

- 1) マネージメント LAN 経由で接続し、iLO メニューを表示させ、「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択してください。
- 2) 「製品名」「ファームウェアバージョン」が表示されます。
対象となる製品の製品名とファームウェアバージョンを確認してください。
N 型番と「製品名」の対応は以下の通りです。
N8190-165/166: SN1100Q
N8190-173/174: SN1610Q

【適用手順】

- 1) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティから「TPM Visibility」を [Hidden]にします。システムユーティリティから設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。設定を変更したら、サーバーを再起動します。
- 2) サーバーにrootユーザーでログインします。
- 3) マウントポイントを作成します。作成済みの場合は、本操作は不要です。
mkdir /media/cdrom
- 4) Starter Pack S8.10-013.04をマウントします。
mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom
- 5) ファームウェアモジュールが収録されたディレクトリに移動します。
cd /media/cdrom/16g_fc/q/rhel
- 6) 以下のコマンドを順番に実行します。
rpm -Uvh firmware-fc-qlogic-2025.03.01-1.6.x86_64.rpm
cd /usr/lib/x86_64-linux-gnu/firmware-fc-qlogic-2025.03.01-1.6
./setup -f
- 7) サーバーを再起動します。
reboot
- 8) 手順1)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバーを再起動します。